

R016.2-Ka62ㄅ



1200500765560

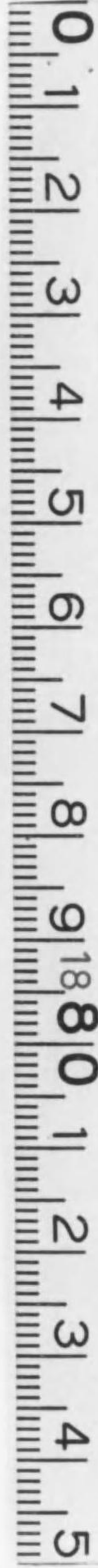
R016.2

62



大廳圖書館要覽

同館編
自昭和十六年四月
至昭和十七年三月



始



要

覽

278

363

樺太廳圖書館

要



自昭和十六年四月
至昭和十七年三月

R
016.2
KA62
⑦

覽



樺太廳圖書館

發行所寄贈本

目次

沿革	一
榑太廳圖書館規則	一
榑太廳圖書館處務規程	二
榑太廳圖書館貸出文庫取扱手續	八
公立、私立圖書館規則	一〇
市町村立(私立)圖書館準則	一〇
圖書館設置規格	一六
現況	一八

建物—藏書—閲覧—分類—目錄—經費—職員—舊職員—附帶事業—寄贈圖書
寄贈雜誌新聞—圖書館日誌抄

278
263

一 沿革

- 昭和七年一月十五日 榑太教育會は榑太文化擴充の目的を以て豊原市に同附屬圖書館を設立す。
- 昭和十二年八月七日 榑太教育會附屬圖書館を榑太廳に移管し榑太廳圖書館となる。
- 昭和十二年八月七日 榑太廳令第四十七號及榑太廳訓令第六十號を以て榑太廳圖書館規則並同處務規程公布され館長以下職員任命せらる。
- 昭和十二年九月一日 準備完了と同時に開館し同月二十日開館式を兼ね在豊原名士を招待圖書館經營に關する意見を聽く大懇談會を開催す。
- 昭和十二年十二月三十一日 事務室を増築す。
- 昭和十四年五月四日 出納室を改造し一部開架式となす。
- 昭和十四年六月十五日 全島支廳及出張所並市町村に貸出文庫を廻付す。
- 昭和十五年二月二十一日 少年圖書閱覽室竣功す。
- 昭和十五年三月十七日 榑太廳令第二十三號及同廳告示第四十七號を以て公立私立圖書館規則及市町村立(私立)圖書館準則を公布し榑太に於ける公私立圖書館設置の根本法規を制定し茲に榑太圖書館界の指標確立す。
- 昭和十五年三月三十一日 圖書館設置規格を制定し圖書館設置の市町村に對し其の標準を指示す
- 昭和十五年八月七日 事務室増築す。

二 樺太廳圖書館規則

昭和十二年八月七日
廳令第四十五號

第一章 總 則

- 第一條 樺太廳ニ圖書館ヲ置ク
- 第二條 圖書館ハ圖書記錄ノ類ヲ蒐集保存シ公衆ノ閱覽ニ供シ其ノ教養及ビ學術研究ニ資スルヲ以テ目的トス
- 第三條 圖書館ハ社會教育ニ關シ附帶施設ヲ爲スコトヲ得
- 自四月一日 午前九時ヨリ午後九時迄
- 自十月三十一日 午前九時ヨリ午後九時迄
- 自十一月一日 午前十時ヨリ午後八時迄
- 自三月三十一日 午前十時ヨリ午後八時迄
- 第四條 圖書館ノ休館日ハ左ノ如シ但シ臨時休館日ハ其ノ都度之ヲ定ム
- 年 末 年 首 十二月二十八日ヨリ翌年一月五日迄
- 祝 祭 日
- 樺太神社例祭日
- 圖書館創立記念日 (八月七日)
- 館内掃除日 毎月曜日
- 曝 書 期 八月、九月中凡ソ十四日間

- 第五條 館内閱覽ヲ爲スコトヲ得ル者ハ年齢七年以上ノ者ニ限ル
- 傳染病ノ疾患アリト認ムル者又ハ館内ノ風紀ヲ害シ若ハ靜肅ヲ害スル虞アリト認ムル者ハ登館ヲ許サズ
- 第六條 本圖書館ニ功勞アル者又ハ館長ニ於テ適當ナリト認メタル者ニハ優待券ヲ交付スルコトアルベシ
- 第七條 優待券ハ圖書ノ携出ニ關シ携出券ト同一ノ效力ヲ有ス
- 第八條 閱覽人ニ於テ圖書ヲ亡失又ハ汚損シタルトキハ館長ノ指定ニ從ヒ同一ノ圖書又ハ相當ノ代金ヲ以テ之ヲ辨償セシム但シ情狀ニ因リ其ノ義務ヲ減免スルコトアルベシ
- 前項ノ辨償義務ヲ了セザル者ハ閱覽スルコトヲ得ズ
- 第九條 圖書館ノ規定ニ違反シタル者又ハ館員ノ指示ニ從ハザル者ハ退館セシメ又ハ其ノ情狀ニ因リ期限ヲ定メ入館ヲ禁ズルコトアルベシ

第二章 圖書ノ閱覽

- 第十條 圖書ヲ閱覽セントスル者ハ閱覽票ニ所事項ヲ記入シ圖書ヲ借受クベシ
- 第十一條 圖書ヲ閱了シ返還セントスルトキハ圖書ト引換ニ閱覽票ヲ受取り館員ニ引渡スベシ
- 館員圖書ヲ查收シタルトキハ閱覽票ニ捺印シ圖書ノ返還ヲ證明ス
- 第十二條 一時ニ閱覽スルコトヲ得ベキ圖書冊數ハ左ノ制限内トス
- 一 優待券ヲ有スル者 制限ナシ

- 二 普通閱覽者
- 三 兒童
- 一 冊
- 三 冊

第十三條 閱覽中館外ニ出デントスルモノハ外出券ヲ請求シ 閱覽中ノ圖書ハ假ニ館員ニ渡シ置クベシ

前項ノ外出券ハ歸館ノトキ之ヲ携帯スベシ

第十四條 圖書ノ閱覽ハ年齢十二歳未満ノ者ニ在リテハ少年閱覽室其ノ他ノ者ニ在リテハ普通閱覽室ニ於テナスベシ但シ館長ノ許可ヲ得タル者ハ此ノ限ニ在ラズ

特別閱覽室ノ利用ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第十五條 閱覽人ハ左ノ各號ヲ遵守スベシ

- 一 圖書ノ閱覽ハ閱覽室ニ於テナスベシ但シ貴重ノ圖書ハ館員ノ指定シタル場所ニ於テ閱覽スベシ
- 二 圖書ハ鄭重ニ取扱フベシ
- 三 閱覽室ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ音讀、雜話、喫煙スベカラズ
- 四 机、椅子ヲ猥リニ移動スベカラズ
- 五 閱覽ニ關スル揭示館員ノ指示ニ從フベシ

第三章 圖書ノ携出

第十六條 圖書館所藏ノ圖書ヲ携出借覽セントスル者ハ圖書携出券ノ交付ヲ受クベシ

第十七條 圖書携出券ノ交付ヲ出願シ得ル者ハ年齢十七歳以上ニシテ本島内ニ居住スル者ニ限ル

第十八條 圖書携出券ノ交付ヲ受ケントスル者ハ豊原市ニ住所ヲ有シ館長ニ於テ身許確實ト認メタル保證人ヲ要ス但シ館長指定ノ保證金ヲ納メタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第十九條 圖書携出券ノ有効期間ハ交付ノ日ヨリ起算シ一年トス

第二十條 圖書携出券ヲ亡失汚損シ又ハ裏面記載欄ノ空欄ナキニ至リタル時ハ直ニ其ノ旨ヲ館長ニ届出デ再交付ヲ受クベシ

第二十一條 携出閱覽料ハ一年一圓トス但シ前條ノ亡失汚損ニヨル再交付ヲ受クル場合ハ其ノ都度手数料二十錢ヲ納付スベシ

前項料金ハ納付後如何ナル事由アルモ之ヲ返付セズ

第二十二條 携出閱覽人本島内ニ居住セザルニ至リタルトキハ爾後其ノ携出券ハ無効トス

携出者又ハ其ノ保證人其ノ居所若ハ氏名ヲ變更シタルトキハ其ノ旨直ニ圖書館ニ通知スベシ

第一項ノ場合ニ於テハ三日以内ニ携出券ヲ返納スベシ

第二十三條 前條及第二十條ノ手續ヲ怠リタルガ爲圖書館ニ損害ヲ與ヘタル場合ハ當該携出券記名者若クハ保證人ニ於テ之ガ賠償ノ責ニ任ズベシ

第二十四條 携出シ得ベキ圖書ハ携出禁止圖書以外ノモノニ限ル但シ携出禁止圖書以外ノモノト雖モ圖書館ノ都合ニ依リ携出ヲ許サザルコトアルベシ

第二十五條 左ノ圖書ハ之ヲ携出スルコトヲ得ズ

- 一 貴重圖書

- 二 辭書、事彙及全集類
 - 三 寫真帖及法帖
 - 四 館内閱覽ニ支障ヲ生ズル圖書（學生參考書、新刊圖書、雜誌）
 - 五 事務上支障ヲ生ズル圖書（整理中ノモノ、目錄類）
- 第二十六條 圖書ヲ携出シ又ハ返納セントスルトキハ優待券若ハ携出券ヲ館員ニ差出スベシ
携出ニ際シテハ携出閱覽票ニ指定ノ事項ヲ記入捺印スベシ
- 第二十七條 一時ニ携出シ得ベキ圖書冊數ハ左ノ制限内トス
優待券ヲ有スル者 五 冊
携出券ヲ有スル者 二 冊
- 第二十八條 圖書ノ貸出期限ハ十日トス但シ圖書館ノ都合ニ依リ有間内ト雖モ返納セシムルコトアルベシ
圖書ノ借續ヲ爲サントスルトキハ一時所定期日ニ返納ノ上再ビ第二十六條ノ手續ニ依リ借受クベシ
- 第二十九條 携出圖書ノ冊數又ハ圖書携出期間ハ特ニ館長ノ許可ヲ受ケタルトキハ前二條ノ制限ニ依ラザルコトヲ得
- 第三十條 管内ノ官公署、學校又ハ確實ナル團體等ヨリ申込アルトキハ館長ハ相當期限ヲ付シ其ノ圖書ヲ館外ニ携出セシムルコトヲ得
- 第三十一條 携出券、優待券及携出圖書ハ之ヲ他人ニ貸與スルコトヲ得ズ

- 第三十二條 携出圖書ノ返納ヲ怠リ又ハ前條ノ規定ニ違反シタルトキハ爾後其ノ携出券及優待券ヲ無効トシ再交付セザルコトアルベシ
- 第四章 圖書ノ寄贈**
- 第三十三條 圖書ヲ寄贈セントスル者ハ申込書ニ所要事項ヲ詳記シ現品ト共ニ館長ニ差出スベシ
- 第三十四條 圖書ノ寄贈ニ要スル費用ハ寄贈者ノ負擔トス但シ時宜ニ依リ圖書館ニ於テ其ノ全部若ハ一部ヲ支辨スルコトアルベシ
- 第五章 圖書ノ委託**
- 第三十五條 公衆ノ閱覽ニ供スル目的ヲ以テ圖書ヲ委託セントスル者ハ委託申込書ニ所要事項ヲ記載シ捺印ノ上館長ニ申込ムベシ
前項圖書ニ對シテハ館長ヨリ受託證ヲ交付ス
- 第三十六條 委託圖書ハ圖書館所藏ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナスベシ但シ館外ニ携出ヲ許サズ
- 第三十七條 委託圖書ハ委託者ノ請求又ハ圖書館ノ都合ニ依リ隨時之ヲ返付スルコトアルベシ
前項ノ場合ニ於テハ受託證ヲ返納スベシ
- 第三十八條 委託圖書ニシテ毀損又ハ亡失スルコトアルモ圖書館ノ重大ナル過失ニ因ルニ非ザレバ其ノ責ニ任ゼズ
- 第三十九條 圖書ノ委託及返付ニ要スル費用ハ委託者ノ負擔トス但シ時宜ニ依リ圖書館ニ於テ其ノ全部若ハ一部ヲ支辨スルコトアルベシ

第六章 貸出文庫

第四十條 圖書閱覽ノ便ヲ有セザル者ノ爲ニ貸出文庫ヲ設ク
第四十一條 貸出文庫ハ支廳、支廳出張所、市役所、町村役場又ハ官公立學校等適當ナル場所ニ之ヲ開設ス

前項開設ノ場所及期間ハ之ヲ告示ス

第四十二條 貸出文庫ヲ開設シタルトキハ當該支廳長、支廳出張所長、市町村長又ハ官公立學校長之ヲ管理スベシ

第四十三條 貸出文庫ノ開閉時間、休日及閱覽ニ關シテハ第三條、第四條及第十條乃至第十五條ニ準ジ管理者之ヲ定メ館長ニ通知スベシ

圖書ノ携出ニ關シテハ第十六條乃至三十二條ノ規定ヲ準用ス

第四十四條 貸出文庫ノ運搬ニ要スル費用ハ圖書館ニ於テ之ヲ支辨ス

第四十五條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和十二年八月七日ヨリ之ヲ施行ス

三 樺太廳圖書館處務規程

昭和十二年八月七日
訓令第六十號

樺太廳圖書館處務規程左ノ通定ム

樺太廳圖書館處務規程

第一條 樺太廳圖書館ニ左ノ職員ヲ置ク

- 一 館長
- 二 司書 若干名
- 三 書記 若干名

館長、司書及書記ハ樺太廳職員中ヨリ樺太廳長官之ヲ命ズ

第二條 館長ハ上官ノ命ヲ承ケ館務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第三條 司書ハ上司ノ命ヲ承ケ圖書ノ取扱及保管ニ従事ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務及會計ニ従事ス

第四條 圖書館ニ左ノ簿冊ヲ備フ

- 一 圖書臺帳
- 二 圖書受拂簿
- 三 圖書貸付簿
- 四 日記
- 五 文書收發簿

第五條 圖書館ノ處務ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外樺太廳處務規程ニ依ル

附 則

本令ハ昭和十二年八月七日ヨリ之ヲ施行ス

四 樺太廳圖書館貸出文庫取扱手續

- 第一條 貸出文庫ノ使用期間ハ二月乃至一ケ年ノ範圍ニ於テ館長之ヲ定ム
- 第二條 貸出文庫編制ニ付希望アルトキハ管理者ハ豫メ其ノ希望ヲ申込ムコトヲ得
- 第三條 本館ニ於テ貸出文庫ヲ發送スル場合ハ圖書目錄、圖書貸付簿ト共ニ之ヲ管理者ニ送付スベシ
- 管理者ハ前項ノ貸出文庫受領ト同時領收書ヲ館長宛送付スベシ
- 第四條 管理者ハ適當ノ方法ニヨリ圖書ヲ公衆ニ周知セシメ且短期日ノ携出ヲ許ス等努メテ圖書ノ利用ヲ獎勵スベシ
- 第五條 管理者ハ貸出文庫ノ圖書閱覽スルモノ及携出借覽者ニ對シテハ圖書貸付簿ニ各所定ノ記入ヲ爲サシムベシ
- 第六條 管理者ハ本館ヨリ送付用紙ヲ用ヒ毎月ノ閱覽狀況ヲ調査シ翌月十日迄ニ本館ニ通知スベシ
- 第七條 貸出文庫ノ使用ヲ了リタルトキハ管理者ニ於テ圖書目錄ト照合ノ上關係簿冊ト共ニ本館指定ノ箇所ニ廻付スベシ

五 公立、私立圖書館規則

昭和十五年三月十七日
廳令第二十三號

第一條 圖書館ハ圖書記錄ノ類ヲ蒐集保存シテ公衆ノ閱覽ニ供シ其ノ教養及學術研究ニ資スルヲ以

テ目的トス

圖書館ハ社會教育ニ關シ附帶施設ヲ爲スコトヲ得

第二條 市町村ハ圖書館ヲ設置スルコトヲ得

第三條 商工會議所、其ノ他ノ公共團體及私人ハ圖書館ヲ設置スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ商工會議所其ノ他公共團體ノ設置シタル圖書館ハ私立ト看做ス

第四條 圖書館ヲ設置シ又ハ廢止セントスルトキハ樺太廳長官ノ認可ヲ受クベシ

第五條 圖書館設置ノ認可ヲ受ケントスルトキハ公立ニ在リテハ管理者、私立ニ在リテハ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ樺太廳長官ニ申請スベシ

- 一 名 稱
 - 二 位 置
 - 三 甲地建物ノ面積及圖面
 - 四 開館年月日
 - 五 館 則
 - 六 閱覽所ノ設備ナキモノハ其ノ事由
 - 七 經費及維持ノ方法
 - 八 圖書館利用地域内ノ人口
- 前項第一號乃至第五號ヲ變更セントスルトキハ管理者又ハ設立者ニ於テ樺太廳長官ノ認可ヲ受クベシ

第六條 圖書館ニハ分館ヲ設置スルコトヲ得
前條ノ規定ハ分館ノ設置ニ付之ヲ準用ス

第七條 圖書館廢止ノ認可ヲ受ケントスルトキハ 公立ニ在リテハ管理者、私立ニ在リテハ設立者左ノ事項ヲ具シ樺太廳長官ニ申請スベシ
分館ヲ廢止セントスルトキ亦同ジ

- 一 廢止ノ事由
- 二 廢止ノ期日
- 三 廢止後ノ圖書處分方法

第八條 私立圖書館ノ設立者ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ新舊設立者連署ノ上樺太廳長官ノ認可ヲ受クベシ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ樺太廳長官ハ圖書館ノ閉鎖ヲ命ジ又ハ認可ヲ取消スコトアルベシ

- 一 法令ニ違反シタルトキ
- 二 安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルノ虞アルトキ
- 三 六月以上理由ナクシテ閉館ヲ爲サザルトキ
- 四 其ノ他樺太廳長官ニ於テ不適當ト認メタルトキ

第十條 圖書館ニ於テハ閱覽料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ場合ハ樺太廳長官ノ認可ヲ受クベシ

第十一條 樺太廳長官ハ圖書館事業ノ獎勵上必要アリト認ムルトキハ 毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金又ハ獎勵金ヲ交付ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

六 市町村立(私)立圖書館館則準則

樺太廳告示第四十七號
昭和十五年三月十七日

第一章 總 則

第一條 本館ハ圖書記錄ノ類ヲ蒐集シ以テ公衆ノ閱覽ニ供ス

本館ハ社會教育ニ關シ適切ナル附帶施設ヲ爲ス

第二條 本館ノ開館時間左ノ如シ但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルベシ

自四月一日 至 十月三十一日 午前九時ヨリ午後九時迄

自十一月一日 至翌三月三十一日 午前十時ヨリ午後八時迄

第三條 本館ノ休館日左ノ如シ但シ臨時休館ハ其ノ都度之ヲ定ム

歲 始 一月一日ヨリ同何日迄

祝 祭 日

地元神社例祭日

館内掃除日 (毎月曜日又ハ毎月末日)

曝 書 期 八、九月中二週間以内
末 十二月 日ヨリ同三十一日迄

第二章 圖書 閱覽

第四條 圖書ヲ閱覽セントスル者ハ閱覽票(簿)ニ所事項ヲ記入ノ上圖書ヲ借覽シ退館ノ時之ヲ返納スベシ

第五條 閱覽人ハ左ノ各號ヲ遵守スベシ

一 圖書ノ閱覽ハ閱覽室ニ於テ爲スベシ但シ貴重ノ圖書ハ館員ノ指定シタル場所ニ於テ閱覽スベシ

二 閱覽室ニ於テハ靜肅ヲ旨トシ音讀、雜話、喫煙スベカラズ

三 其ノ他閱覽ニ關スル揭示館員ノ指示ニ從フベシ

第三章 館外 携出

第六條 圖書館所藏ノ圖書ヲ携出借覽セントスル者ハ圖書携出券ノ交付ヲ受クベシ

第七條 圖書携出券ノ交付ヲ受ケントスル者ハ本市(町村)區域内ニ居住シ圖書館長ニ於テ身許確實ト認メタル保證人ヲ要ス但シ圖書館長指定ノ保證金ヲ納メタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 圖書携出券ノ有効期間ハ交付ノ日ヨリ一年トス

第九條 携出借覽料ハ一年 圓トス但シ亡失汚損ニヨリ再交付ノ場合ハ手数料金 錢ヲ納

入スベシ

前項料金ハ納付後如何ナル事情アルモ返付セズ

第十條 携出借覽人地域内ニ居住セザルニ至リタルトキハ爾後其ノ携出券ハ無効トス

携出借覽人又ハ保證人其ノ氏名若ハ居住場所ヲ變更シタルトキハ其ノ旨直ニ圖書館長ニ通報スベシ

第十一條 左ノ圖書ハ之ヲ携出スルコトヲ得ズ

一 貴重圖書

二 辭書、事彙及叢書、全集類

三 寫真帳及法帳

四 館内閱覽ニ支障ヲ生ズル圖書及事實上支障アル圖書

第十二條 一時ニ携出借覽シ得ベキ圖書ハ三冊以内トシ携出期限ハ十日限リトス但シ館ノ都合ニ依リ期間内ト雖モ返納セシムルコトアルベシ

第十三條 本館ニ功勞アリタル者ニ對シテハ優待券ヲ交付スルコトアルベシ

第十四條 優待券ハ圖書携出ニ關シ携出券ト同一ノ效力ヲ有ス

第十五條 本館ニ貸出文庫ヲ設置スルコトアルベシ

貸出文庫ノ細則ハ圖書館長別ニ之ヲ定ム

第四章 圖書及金員寄附

第十六條 圖書又ハ金員ヲ寄附セントスル者ハ圖書館長ヲ經テ管理者(又ハ設立者)ニ申出ヅベシ

第十七條 寄附金ニテ購入ノ圖書及寄贈圖書ニハ寄贈者ノ住所氏名ヲ標記スベシ

第五章 圖書委託

第十八條 公衆ノ閱覽ニ供スル爲圖書ヲ委託セントスルトキハ其ノ目錄委託者ノ住所氏名ニ現品ヲ添ヘ圖書館長ニ申出ヅベシ

第十九條 委託圖書ヲ毀損又ハ亡失シタルトキト雖モ重大ナル過失ニ因ルニ非ザレバ圖書館ニ於テハ其ノ責ニ任ゼズ

附 則
本則ハ昭和 年 月 日ヨリ之ヲ施行ス

七 圖書館設置規格

昭和十五年三月三十一日
廳 議 決 定

- 一 公立私立圖書館ニ於テハ左ノ表簿ヲ備付クベシ
- 一 圖書臺帳
- 二 備品臺帳
- 三 寄贈臺帳
- 四 圖書貸付簿 (携出借覽綴)
- 五 圖書借覽簿 (閱覽票綴)
- 六 豫算及決算簿

七 圖書館一覽表

八 文書收發簿

九 閱覽用圖書目錄

一〇 其ノ他必要ナル表簿

- 二 人口二萬以上ヲ對照トスル圖書館ニハ專任司書ヲ置クヲ本則トス
- 三 町村立圖書館又ハ市町村民衆ヲ對象トスル私立圖書館ニ於テハ其ノ土地ノ風俗、習慣、文化程度、産業經濟等ノ狀況ヲ考慮シ其ノ地方ノ指導啓發ニ適切ナル通俗圖書及該地方ニ關係アル郷土資料ヲ蒐集スベシ
- 四 市立又ハ人口一萬以上ヲ有スル町立圖書館ニ於テハ前條ノ外稍程度ノ高キ圖書並學術研究ニ資スベキ圖書ヲモ蒐集スベシ
- 五 市町村圖書館ニ於ケル藏書冊數ハ其ノ利用地域内人口ノ二分ノ一ヲ標準トス
- 六 圖書館ニ於テハ館外閱覽ニ適切ナル施設ヲ爲スベシ
- 七 圖書館ニ於テハ社會教育ニ關シ左ノ附帶施設ヲ爲スモノトス
 - 一 揭示教育
 - 二 講習講演展覽會
 - 三 印刷物發行
 - 四 其ノ他適切ナル社會教育施設
- 八 圖書館ハ其ノ附帶施設ニ關シ教育教化團體其ノ他適當ナル團體ト共同施設ヲ爲スコトヲ得

九 圖書館ノ圖書購入費ハ其ノ利用地域人口ニ金五錢ヲ乘シタル額ヲ標準トス
 十 圖書館ノ設置及經營ニ就テハ樺太廳圖書館ノ指導ヲ受クベシ

八 現 況

一 建 物

本館	木造一階建	五十六坪
少年室	〃	二十一坪
書庫	〃	二十七坪
事務室	〃	十六坪
物置	〃	八坪

二 藏 書

昭和十七年三月三十一日現在分類別藏書冊數次の通り。

分 類	昭和十五年		昭和十六年度		現 在
	末	現	購 入	贈 合 計	
總記	一、三四二	一、三四二	八一	一六九	一、五九二
精神科學	一、四一二	一、四一二	九一	七六	一、五七九
歷史科學	一、五二二	一、五二二	一七八	三四九	二、〇四九

本館の閲覧は左の三種の方法に依るものとす。

三 閱 覽 (抜 粹)

- (イ) 館内閲覧 (無料) 一回三冊以内(但し十六歳未満の者は一般閲覧室には入館出来ない、閲覧室狹隘の爲當分の間)
- (ロ) 館外閲覧 (一ヶ月一圓) 一回二冊以内で期限は十日以内とす。
貸出資格は本島在住の十七歳以上の者にして携出券又は優待券を有する者。
- (ハ) 貸出文庫 島内各支廳、出張所及市町村宛に派出する他各種修養道場、特種團體に派出す。

總 計	昭和十五年				昭和十六年度		現 在
	末	現	購 入	贈 合 計	購 入	贈 合 計	
社會科學	三、〇一五	三、〇一五	三一二	一二四	四三六	三、四五一	
自然科學	九二六	九二六	八五	一一三	九八	一、〇二四	
工業藝術	六八一	六八一	一五〇	一二	一六二	八四三	
產業	八九九	八九九	一五二	二七	一七九	一、〇七八	
美術	五九八	五九八	一〇一	一三	一一四	七一二	
言語學	七三一	七三一	二八	一五	一四三	八七四	
文學	三、六八六	三、六八六	四五一	七四	五二五	四、二一一	
少年圖書	六四七	六四七	二七五	九	二八四	九三一	
總計	一五、四五九	一五、四五九	一、九〇四	九八一	二、八八五	一八、三四四	

派	出	先	冊	數	期	間	派	出	先	冊	數	期	間
大泊支	支	管内	八	〇	一	〇〇日	本斗支	支	管内	八	〇	一	〇〇日
豐榮支	支	管内	八	〇	一	〇〇日	大泊支	支	管内	八	〇	一	〇〇日
元泊支	支	管内	八	〇	一	〇〇日	出張所	留多	管内	四	〇	三	〇〇日
敷香支	支	管内	八	〇	一	〇〇日	王子産業報	國會	電支	四	〇	三	〇〇日
惠須取支	支	管内	八	〇	一	〇〇日	拓殖道	道	場	五	〇	六	〇〇日
泊居支	支	管内	八	〇	一	〇〇日	海	道	場	四	〇	三	〇〇日
眞岡支	支	管内	八	〇	一	〇〇日	樺太	道	場	四	〇	六	〇〇日
							太	道	場				
							廳	道	場				
							食	道	場				
							堂	道	場				

(二) 慰問文庫 本島出身傷病兵及國境警備警察官に對し慰問文庫を派出す。

派	出	先	冊	數	期	間
傷病兵	慰問	文庫	二〇	〇	六	〇日
國境警備	警察官	慰問	一〇〇	〇	一八	〇日

(ホ) 讀書會文庫 各職場及隣組に讀書會を結成せしめ讀書會文庫を派出す。

派	出	先	會員	數	貸出	冊	數	期	間
鐵道	事務	所	三	二	三	二	三	〇	日

(申込順)

昭和十六年度閱覽狀況は次の通り。(昭和十七年三月三十一日現在)

閱覽人員

昭和十六年 開館 二一三

北海タイムス社	豊原支局	讀書會	一	二	一	三	〇	〇	日
營窓	讀書會	一	二	九	六	三	〇	〇	日
樺太殖産部	管理課	讀書會	一	三	三	三	〇	〇	日
豊太	磁産課	讀書會	一	六	六	三	〇	〇	日
樺太	水産課	讀書會	一	六	六	三	〇	〇	日
豊原	局保	險保	讀書會	一	六	三	〇	〇	日
陸送	局	讀書會	一	六	一	三	〇	〇	日
放雪	會	讀書會	一	三	六	一	三	〇	〇
東一	條南	十丁目	第六	隣保	讀書會	一	三	〇	〇
豊原	鐵道	事務所	運輸	保	讀書會	一	三	〇	〇
豊原	鐵道	事務所	校	讀書會	一	三	〇	〇	〇
選信	課	保	險	讀書會	一	三	〇	〇	〇
有德	會	讀書會	一	三	八	六	三	〇	〇
東二	、三	條南	四丁目	讀書會	一	三	五	二	〇
青	教	讀書會	一	三	二	五	二	〇	〇

職業別	館内	館外	合計	一日平均
農業及水産業	一三六	二一八	三五四	一・七
鑛業及工業	一四七	七二	二一九	一・〇
商業及交通業	三六六	一九二	五五八	二・六
公務及自由業	二、一八六	二、二二五	四、四一一	二〇・七
其他業者	二八九	一三二	四二一	二〇
學生	一五、三一五	九四三	一六、二五八	七六・三
少年	五、九五三	四	五、九五三	二八・〇
無職	九四九	四八	九九七	四・七
新聞	六、二五二	一八三	六、四三五	三〇・二
計	三一、五九三	四、〇一三	三五、六〇六	一六七・一

閱覽冊數

昭和十六年度

開館

二二三

分類	館内	館外	合計	一日平均
總記	五、七九五	二八〇	六、〇七五	二八・五
精神科	七三二	二六三	九九五	四・七
歷史科	三五〇	三九三	九四三	一八・五
社會科	一、八九三	四二一	二、三一四	一〇・九
計	一、八九三	四二一	二、三一四	一〇・九

分類	館内	館外	合計	一日平均
自然科學	九、九〇二	七八二	一〇、六八四	五〇・二
工業學	三五八	一三三	四九一	二・三
產業學	四三六	一七〇	六〇六	二・八
美術學	六九五	一二七	八二二	三・九
語言學	二、三二五	六六	二、三九一	一一・二
文學	九、〇八二	六、〇九六	一五、一七八	七一・三
兒童圖畫	二五、五三七	八、七三一	三四、三〇六	一一九・九
計	六〇、三〇五	八、七三一	六九、〇三六	三二四・一

閱覽時間

(イ) 館内閱覽
(ロ) 館外閱覽

自四月至十月
自十一月至三月

午前九時より午後九時
午前十時より午後八時

四分類・目錄

本館使用の分類表はN・D・C (日本十進分類法) 第四版に依る。
本館備付目錄は
分類目錄 印刷目錄及カード目錄

五經費

同同同同事同同雇司館
務員員書長

六職員
山本 鹽野 中澤 中川 小源 加藤 渡西 中山 山本
誠郎 良和 義隆 彌木 太郎

昭和十二年八月七日任命
同十四年六月一日同
同十四年十一月十五日同
同十四年五月一日同
同十四年四月一日同
同十四年五月二十日同
同十四年六月十日同
同十五年六月三十日同
同十七年二月十日同
同十七年六月二日同

六職員

筆紙墨文具費	三〇〇	
消耗品費	九八〇	
通信運搬費	四〇〇	
電燈水道費	五〇〇	
旅費	八〇〇	巡回文庫及各地圖書館指導
購費	二〇〇	
雜費	六四	

樺太廳圖書館經費 (昭和十七年度歲出經常豫算)

科目	目	費目	豫算額	備考
樺太廳費	俸給	館長俸給	二二、六三〇	
	司書・書記俸給	給	三、七二六	
雜給	司書・書記俸給	給	二、〇四六	俸給
	司書・書記俸給	給	一、六八〇	二人(一人平均七〇圓)
圖書館費	館長俸給	給	九、〇六〇	二人(一人平均五五圓)
	司書・書記俸給	給	一、三二〇	二人(一人平均二圓)
	事務員給	給	一、四六〇	四人(一人一日平均一圓五〇錢)
	出納手給	給	二、一九〇	二人(一人一日平均一圓五〇錢)
	給仕、小使給	給	一、〇九五	二人(一人一日平均一圓五〇錢)
	臨時備人	費	三七五	一人(一日二圓五〇錢 此一五〇日分)
	旅費	費	一、〇〇〇	
	賞與	費	一、六二〇	
	圖書印刷費	費	九、八四四	
	展覽、講習座談會費	費	五、六〇〇	
備品費	費	八〇〇		

小給	伊藤 静次郎	同	十六年四月八日	同
小使	確井 庄次郎	同	十五年九月二十五日	同
給仕	青山 米二	昭和十二年八月三十一日	昭和三十七年六月末現在	
給仕	棧政 夫	同		
事務員	佐々木 ち	同		
給仕	大槻 旭	同		
書記	三輪 克明	同		
書記	高橋 一夫	同		
書記	(河井) 西田 敬子	同		
書記	植田 米子	同		
事務員	工藤 夕二	同		
司書	楠田 五郎太	同		

七 舊 職 員

事務員	北 幸 泰	同	十四年十二月二十三日	任命
事務員	笠原 トミ	同	十五年一月二十日	退職
書記	元山 武	同	十六年八月七日	退職
書記	安倍 正一	同	十六年五月十九日	退職
事務員	北 幸 信	同	十七年四月二十四日	任命
事務員	佐藤 政 男	同	十七年二月十七日	退職

八 附 帶 事 業

(イ) 書道講習會

昭和十四年八月神郡晚秋、小林溪水兩氏を招き豊原高等女學校にて講習會開催
受講者百五十名。

(ロ) 映 畫 會

昭和十五年八月伊藤東海氏を招き本館閱覽室に於て講習會開催。受講者五十名。
少年閱覽者の爲に七月十二日(土曜日)午後三時より本館閱覽室に於て映畫會
開催。會する者約三〇〇名。上映々畫次の通り。

- 1 ツ ン ド ラ
- 2 お蝶夫人の幻想

(昭和十七年六月末日現在)

3 蟻の歌
4 海豹島
5 ニュース

八月七日午後七時より本館閱覽室に於て開館四周年記念行事として映畫會開催
會する者約三五〇名。上映々畫次の通り。

- 1 再び逢ふ日まで (洋畫)
- 2 薔薇命あらば (松竹映畫)

(ハ) 音樂鑑賞會 八月七日午後二時より少年室に於て音樂鑑賞會開催。會する者約一五〇名。

解説者 豊原高等女學校教諭 高橋隆太郎氏

レコード提供者 樺太鑛業會 田中久雄氏

(ニ) 座談會 八月七日午後五時より座談會開催。

座談内容新體制と圖書館の使命。參會者十二名。

(ホ) 刊行物

昭和十六年八月一日樺太關係郷土資料目錄第一輯發行し各方面に贈呈す。八月七日樺太廳圖書館要覽發行各方面に送付す。

九 寄贈圖書

(寄贈原簿登録順) (敬稱略)

昭和十六年度

自昭和十六年四月一日
至同十七年三月三十一日

臺灣總督府工業研究所報告 外二四冊

臺灣總督府工業研究所

宮崎縣立都城圖書館報 外二冊

宮崎縣立都城圖書館

樺太北知床半島「北舟越沿革史」外一冊

新岡武彦

東京帝國大學農學部演習林報告 外二冊

東京帝國大學附屬演習林

帝國圖書館報 外五冊

帝國圖書館

支那事變忠勇列傳 外九冊

軍人援護會

樺太廳管内鑛區一覽 外一冊

樺太鑛業會

紀元二千六百年記念肇國文化論文集 外三冊

神宮皇學館

海外放送現況圖 外一冊

札幌中央放送局

樺太廳博物館案内 一冊

樺太廳博物館

臺灣總督府農業試驗所報告 外二一冊

臺灣總督府農業試驗所

愛媛縣町村圖書館設置經營要項 一冊

愛媛縣中央圖書館

變革期日本の政治經濟 一冊

奥村喜和男

國民精神研修叢書 外一冊

臺灣總督府國民精神研修所

道場 一冊

尙去寮

世界大勢要圖 一冊

札幌地方海軍人事部

飛落及飛香落戰 外一冊

北進堂

欽定憲法の眞隨と大政翼賛會 一冊

川崎克

耕地擴張改良事業要覽 一冊

農林省農林局

- 專賣局第四二回年報 一冊
- 擇捉島資料展覽會出品目錄 外十二冊
- 銃 眼 一冊
- 砂丘の蔭に 外二冊
- 鹿兒島縣立圖書館和漢圖書目錄 一冊
- 戰時生活と眞宗信仰 外七冊
- 防空訓練善行美談集 一冊
- 朝鮮地方財政要覽 一冊
- 天津居留民國三十周年記念誌 一冊
- 國際スパイ暗躍秘録 一冊
- 恩給 金庫 一冊
- 華中鐵道圖書館圖書分類目錄 一冊
- 牛の乳熱に就いて 外十一冊
- 宮城縣立圖書館增加圖書分類目錄 一冊
- 公立眞岡圖書館新着圖書目錄 外四冊
- 樺太の地名研究 一冊
- 四日市立圖書館要覽 一冊
- 船 一冊
- ロシヤに於ける文學百科辭典 外一冊

- 專賣局長官々房總務課
- 市立函館圖書館
- 谷内 尙文
- 元山 武
- 鹿兒島縣立圖書館
- 大日本眞宗宣傳協會
- 樺太防衛協會編
- 朝鮮總督府內務局
- 天津居留民國
- 飛鳥 賢治
- 恩給 金庫
- 華中鐵道圖書館
- 樺太廳中央試驗所
- 宮城縣立圖書館
- 公立眞岡圖書館
- 西鶴 定嘉
- 四日市立圖書館
- 近藤記念海事財團
- 滿洲哈爾濱圖書館

- 趣味の醫學 外十九冊
- 卒業論文 一冊
- 北滿民具探訪手記 一冊
- 文藝銃後運動講演集 外一冊
- 齋藤實傳 外三冊
- 昭和一萬句選 一冊
- 開國文化八十年史 外三冊
- 稅務年報 一冊
- 堺市立堺圖書館圖書目錄 外四冊
- 神道德光教祖 一冊
- 國體宣揚史綱 一冊
- 輝く郷土部隊 一冊
- 成田山事業年報 外一冊
- 樺太廳公定價格總覽 一冊
- 上海近代科學圖書館圖書分類目錄 一冊
- 菟麻蠶の研究 一冊
- 樺太史の栞 一冊
- 外國研究要覽 外十四冊
- 江戸時代に於ける造林技術の史的研究 一冊

- 松本 千秋
- 滿洲帝國大同學院
- 南滿洲鐵道株式會社弘報課
- 文藝春秋社
- 齋藤子爵記念會
- 俳鐘句院
- 泉山病院
- 臺灣總督府財務局稅務課
- 堺市立堺圖書館
- 大森 德馬
- 國史回顧會
- 小樽新聞社支局
- 成田圖書館
- 樺太廳商工課
- 上海近代科學圖書館
- 臺灣農會
- 西鶴 定嘉
- 日本學術振興會
- 徳川 宗敬

- 黃士ニ芽グムモノ 一冊
- 樺太廳統計書 外七冊
- 樺太時報 一冊
- 機械工學年鑑 一冊
- 樺太廳學事關係職員錄 外一冊
- 日本馬術史 一冊
- 佐和山城趾 一冊
- 臺北帝國大學一覽 一冊
- 地方文化運動の展望 外三冊
- 優良圖書目錄 一冊
- 石油國策論集 外八冊
- 方面事業二十年史 一冊
- 神奈川縣貸出文庫圖書目錄 一冊
- 大橋圖書館第三二回年報 一冊
- 心のつばさ 外三冊
- 考古學上より見たる熱河 外一冊
- 臺灣人口動態統計記述編 一冊
- 學生生活調査報告 一冊
- 古今朗詠集 一冊

滿洲帝國協和會中央本部

- 樺太印刷合資會社
- 樺太印刷合資會社
- 日本機械學會
- 樺太教育會
- 大日本騎道會
- 彥根市立圖書館
- 臺北帝國大學庶務課
- 大政翼贊會
- 縣立長野圖書館
- 長谷川尙一
- 全日本方面委員聯盟
- 金澤文庫
- 大橋圖書館
- 葛城書店
- 滿洲古蹟古物名稱天然紀念物保存協會
- 臺灣總督府企畫部
- 明治大學報國團政經學會
- 冬柏發行所

- 千歲村に於ける保健 一冊
- 第一回展觀目錄 一冊
- 滿洲の教壇より 外一冊
- 優良兒童圖書目錄 外二冊
- 會員名簿 一冊
- 國立中央博物館時報 一冊
- 皇位繼承篇 一冊
- 列聖全集 外六七七冊
- わが親鸞 一冊
- 日本に現存するフリーメーションリー 一冊
- 甦る比律賓の經濟力 一冊
- 教員受驗講座 外五冊
- 元祿快樂赤穂義士傳 一冊
- ラジオ年鑑 一冊
- 岡山圖書館年報 一冊
- 免疫學說の大綜說 一冊
- 正則英語講座 外三冊
- 南總文庫目錄 一冊

結核豫防會樺太支部

- 根津美術館
- 滿洲タイムス社
- 市立名古屋圖書館
- 日本圖書館協會
- 國立中央博物館
- 王子製紙株式會社
- 秦恭彦
- 肥後龍夫
- 横谷朋來
- 神戸商工會議所
- 前田忠正
- 島村景一
- 日本放送出版協會
- 岡山圖書館
- 前川雄
- 山本彌太郎
- 神奈川縣立金澤文庫

十 寄贈雜誌及新聞 (敬稱略)

愛媛縣中央圖書館報	愛媛縣中央圖書館	千葉縣立圖書館	千葉縣立圖書館
石川縣中央圖書館月報	石川縣立圖書館	大垣市立圖書館報	大垣市立圖書館
神奈川縣中央圖書館月報	神奈川縣圖書館協會	復家庭書道	復家庭書道會
奈良縣立奈良圖書館月報	奈良縣立圖書館	秀大和	秀大和書道聯盟
鳥取縣中央圖書館報	鳥取縣立鳥取圖書館	管書道	管書道院
宮城縣中央圖書館月報	宮城縣立圖書館	最高美術	最高美術社
讀書信州	縣立長野圖書館	不協龍	不協龍集
高知縣立圖書館報	高知縣立圖書館	習龍	習龍集
臺灣總督府圖書館新著圖書目錄	臺灣總督府圖書館		
江風	上海近代科學圖書館		
帝國圖書館報	帝國圖書館		
文獻報	朝鮮總督府圖書館		
讀書山梨	山梨縣立圖書館協會		
香書	滿鐵大連圖書館		
市立函館圖書館多與利	市立函館圖書館		
トビツク	大橋圖書館		

北門書道	北門書道會	豐原會議所時報	豐原商工會議所
ボトゾル	ボトゾル社	新京經濟季報	新京商工公會
樺太短歌	樺太短歌會	樺太時事	樺太商工公會
氷下魚	氷下魚吟社	樺太時報	樺太廳長官々房文書課
冬柏	冬柏發行所	日本婦人	大日本國防婦人會總本部
樺太鑛業會誌	樺太鑛業會	露日	大日本國防婦人會總本部
鑛工滿洲	滿洲鑛工技術員協會	現農	大日本雄辯會講談社
日立	日立評論社	ローマ	大日本雄辯會講談社
塗料の研究	關西ペイント株式會社	クリチック	大日本雄辯會講談社
商品科學研究所彙報	商品科學研究所	皇國彌榮運動	皇國彌榮運動會
週報	札幌地方海軍人事部	東京堂月報	東京堂
國際情報報	情報局第三部第二課	創元社圖書目錄	創元社
外地評論報	樺太廳長官官房文書課	文部省推薦教養圖書紹介	文部省
勞働時報	厚生省勞働局	ボケット旅行案内	武德
國際事情	情報局第三部第二課	大日本救世新聞	大日本武德會本部
國際月報	情報局第三部第二課		救世團豐原支部
大政翼贊	樺太廳地方課		
實業之世界	實業之世界社		
樺太產業組合報	樺太產業組合協會		

應鐵新聞
樺太だより
京城日報
福岡日日新聞
河北新聞
朝日新聞
東京日日新聞

樺太廳豊原鐵道事務所
軍人援護會樺太支部
京城日報新聞社
福岡日日新聞社
河北新聞社
朝日新聞社
東京日日新聞社

報知新聞
小樽新聞
樺太日日新聞
東樺日日新聞
眞岡毎日新聞
惠須取毎日新聞

報知新聞社
小樽新聞社
樺太日日新聞社
東樺日日新聞社
眞岡毎日新聞社
惠須取毎日新聞社

昭和十六年度圖書館日誌抄

二月十七日 (月)

館長公立眞岡圖書館火災の爲出張

二月二十四日 (月)

事務員澤田豊本日より勤務

三月十日 (月)

公立大泊圖書館より事務員二名見學の爲來館

三月十一日 (火)

館長會議の爲上京

三月二十九日 (土)

公立大泊圖書館司書甲斐久夫氏來館

三月三十一日 (月)

樺太廳屬畑山幸四郎氏會計検査の爲來館

四月一日 (火)

大泊飛行少年支部友兼榮吉氏及樺太廳學務課澤田潤二氏來館

四月四日 (金)

樺太廳土木課技手新岡武彦氏圖書寄贈の爲來館

四月七日 (月)

五月女氏新任挨拶の爲來館

四月八日 (火)

北幸泰事務員退職、北幸信事務員に昇進、伊藤給任命

四月十五日 (火)

第二國民學校長中村貫一氏來館

四月十七日 (木)

館長祈年祭に出席

四月十九日 (土)

公立眞岡圖書館員國枝氏來館

四月二十二日 (火)

館長樺太廳師範學校附設青年學校教員養成所開所式に出席

- 四月二十七日 (日)
館員一同種痘を爲す
- 四月三十日 (水)
元山書記札幌へ出張
- 五月一日 (木)
館員一同樺太神社、護國神社へ参拜
- 五月九日 (金)
職員會開催
- 五月二十日 (火)
愛林日に付館長以下七名植樹作業に従事す
- 五月二十一日 (水)
加藤事務員發令全島に第一次貸出文庫發送
- 五月二十三日 (金)
安部雇員發令
- 五月二十六日 (月)
全國圖書館大會に出席中の鹽野司書本日歸館
- 五月二十七日 (火)
公立眞岡圖書館司書佐藤氏來館、館長海軍記念式に参列
- 五月二十八日 (水)

- 五月三十一日 (土)
北部軍司令部報導部長稻村閣下の講演聴講の爲館長出席 (於樺太廳會議室)
- 職員會開催事務分擔決定
- 六月三日 (火)
少年室に於て午後三時より本館主催のもとに市内中等學校各代表職員並に生徒との懇談會開催
- 六月十一日 (水)
公立眞岡圖書館司書佐藤氏來館、館長敷香方面へ出張
- 六月十九日 (木)
元山書記眞岡高等女學校教諭に發令
- 七月十二日 (土)
本館閱覽室に於て午後三時より映畫會開催五時終了
- 七月十三日 (日)
少年室に於て午後二時より映畫會開催少年に觀覽せしむ四時終了
- 七月十八日 (金)
林務課長尾澤清太郎氏樺太開發會社就任挨拶の爲來館
- 七月二十三日 (水)
公立眞岡圖書館館長中野亥利氏來館、館員一同窓硝子拭施行
- 七月三十日 (水)
臺北帝大助教授大瀬貴光氏來館

- 八月一日 (金) 樺太電燈會社平野光義氏貸出文庫の件に付來館
- 八月二日 (土) 館長留多加大泊方面に出張
- 八月七日 (木) 開館四周年記念行事として座談會、レコードコンサート、映畫會開催午後十時終了
- 八月十日 (日) 江口内務部長來館、來知志第一國民學校長以下兒童八名見學の爲來館
- 八月十一日 (月) 塔路國民學校坂本訓導來館兒童室見學
- 八月十二日 (火) 第四國民學校兒童二十名見學の爲來館
- 八月十三日 (水) 新交通部長白井八州雄、新塔路國民學校長齋藤了雄氏各轉任挨拶の爲來館
- 八月二十三日 (土) 樺太神社祭典に付休館
- 九月二日 - 十日 曝書の爲休館
- 九月十六日 (火)

海洋道場へ貸出文庫派出

- 九月三十日 (火) 敷香町人絹バルブ會社渡邊氏圖書館經營の件に付き來館
- 十月十二日 - 二十一日 本日より二十一日まで防空演習開始、館員交替にて警戒勤務に従事す
- 十一月十三日 (木) 本日全島に巡回文庫發送、大泊高等女學校長古屋碧、眞岡職業紹介所長橋浦哲郎氏來館
- 十一月十五日 (土) 蘭泊村役場書記三浦仁一氏貸出文庫の件に付來館
- 十二月二日 (火) 豊原商工圖書館一周年開館記念座談會開催に付鹽野司書、瀬川事務員出席
- 十二月九日 (火) 午前十時職員會を開催
- 十二月二十三日 (火) 午後一時より職員會開催年末事務其他に付協議す、午後三時より生徒閱覽に關し中學校瀧田教諭工業學校藤田教諭來館
- 十二月二十八日 (日) 御用納め、午前十時より館員一同館内清掃、午後一時館長より訓示
- 一月八日 (木)

- 大詔奉戴記念式後事務分擔に付館長より注意あり
- 一月十六日 (金)
 - 少年室に於て午後一時より少年讀書會々員座談會開催、豊原放送局總務係長高橋隆次氏來館
 - 一月三十日 (金)
 - 樺太廳水産學校内藤直氏圖書整理方法に付來館
 - 二月 四日 (水)
 - 書庫増築調査の爲關根技手來館
 - 二月 五日 (木)
 - 館模様替の爲關根技手來館調査
 - 二月十三日 (金)
 - 館長中學校卒業式に參列
 - 二月十八日 (水)
 - 戰捷第一祝賀會に付正午にて閉館祝賀會に參加
 - 二月二十一日 (土)
 - 午前十一時隣組防空演習訓練を實施
 - 二月二十五日 (水)
 - 午後四時三十分樺太廳本館より出火一部を残し焼失七時鎮火、館員一同登館館長指揮の下に重要書類並貴重圖書安全個所に搬出萬全を期す
 - 三月二十六日 (木)
 - 學務課長伏見民雄氏來館

278
365

昭和十七年八月二十五日印刷
昭和十七年八月三十日發行

樺太廳圖書館

樺太廳市大通南一丁目
印刷者 岩 船 ナ ミ
發行所 樺太廳市東六條南五丁目
樺太廳圖書館
電話二四七五番

- 大詔奉戴記念式後事務分擔に付館長より注意あり
- 一月十六日 (金)
 - 少年室に於て午後一時より少年讀書會々員座談會開催、豊原放送局總務係長高橋隆次氏來館
- 一月三十日 (金)
 - 樺太廳水産學校内藤直氏圖書整理方法に付來館
- 二月四日 (水)
 - 書庫増築調査の爲關根技手來館
- 二月五日 (木)
 - 館模様替の爲關根技手來館調査
- 二月十三日 (金)
 - 館長中學校卒業式に參列
- 二月十八日 (水)
 - 戰捷第一祝賀會に付正午にて閉館祝賀會に參加
- 二月二十一日 (土)
 - 午前十一時隣組防空演習訓練を實施
- 二月二十五日 (水)
 - 午後四時三十分樺太廳本館より出火一部を殘し燒失七時鎮火、館員一同登館館長指揮の下に重要書類並貴重圖書安全個所に搬出萬全を期す
- 三月二十六日 (木)
 - 學務課長伏見民雄氏來館

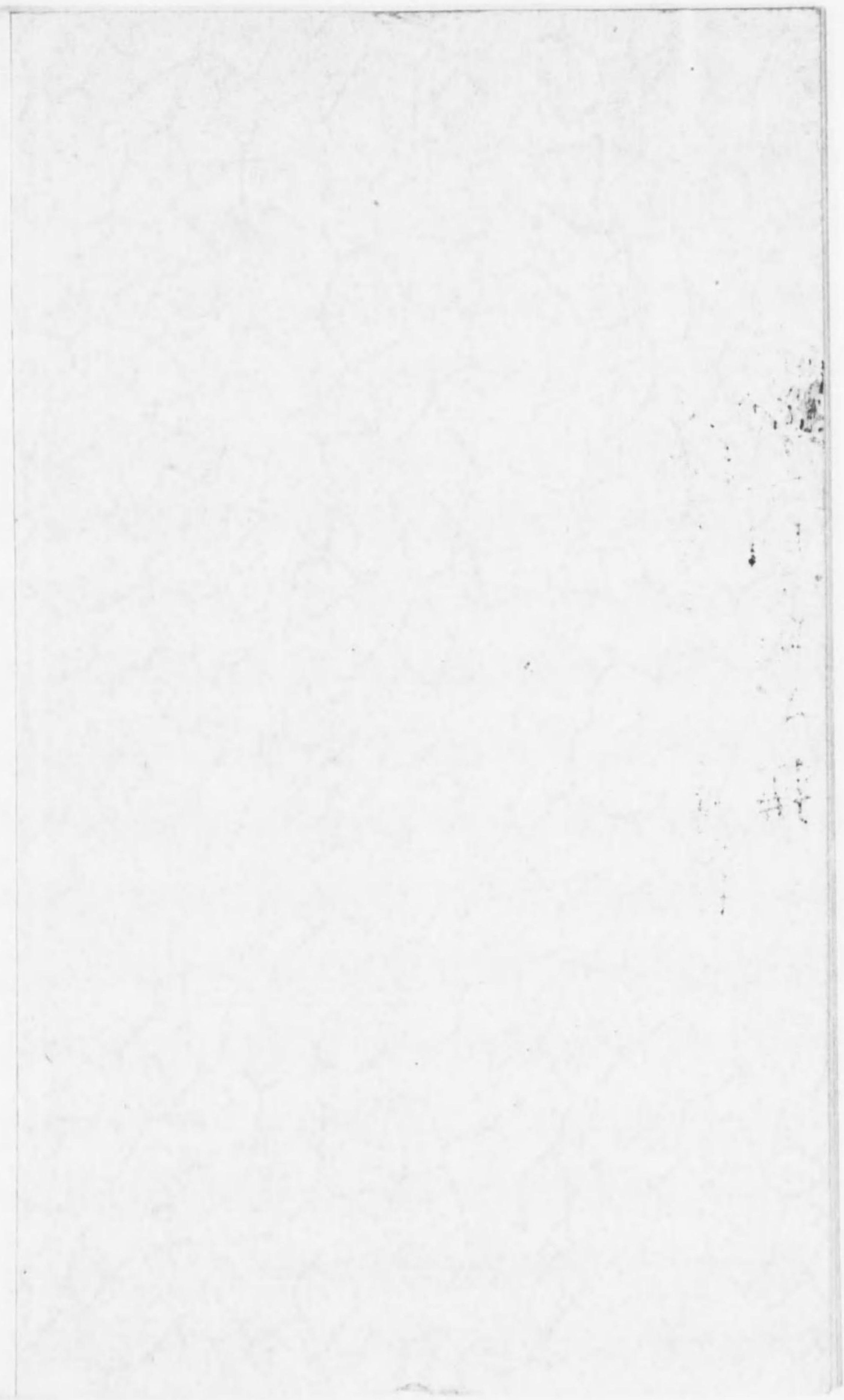
278
365

日	月	年	號	函	製	控
			363	298	製	控
申						考
						備

製本控

278

363



終